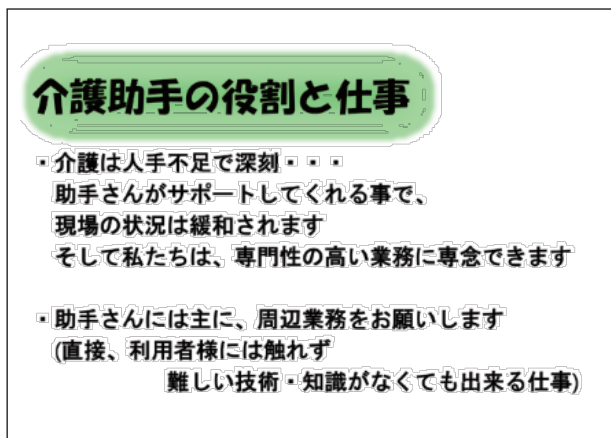


2) 事前説明会の開催

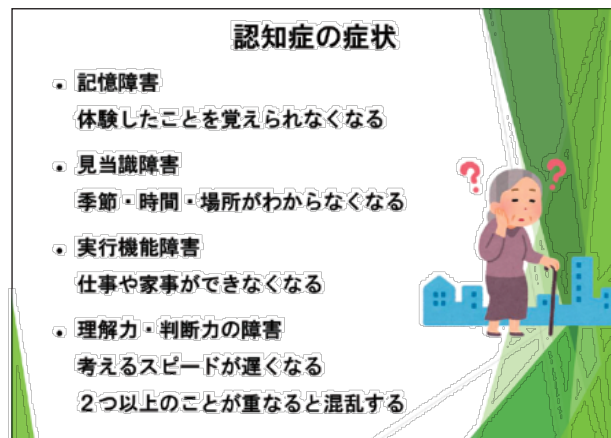
平成30年8月19日(日)、ひまわり(札幌市東区)における第1回説明会の開催を皮切りに、各施設で順次事前説明会を実施。モデル6施設で計188名もの参加があった。

また、9月6日には北海道胆振東部地震発生という災害に見舞われるアクシデントがあったものの、個別対応や日程を追加して補うなどの対応により、予定通り本事業を遂行した。

※各施設の実績はP16～の各施設の取組み内容を参照



介護助手の役割と仕事を説明する発表・資料



高齢者の身体的特徴も説明

3) 参加者と施設の就労マッチング

事前説明会参加者188名について、それぞれの説明会終了時に意向確認とアンケート調査を実施し、参加者の約半数96名から就労マッチングの申し込みがあった。

就労マッチングでは、あらかじめ施設側のニーズとして想定する業務内容や勤務時間数・時間帯等がある程度準備・整理したうえで、申込者の希望する就労時間・曜日や個人ごとのスキルやキャリアに応じたマッチング(すり合わせ)を実施。

希望する就労パターンに双方が当てはまる場合と、どちらかの都合に合わせる事が可能な範囲、条件等を勘案して成否を判断した。

最終的にモデル6施設で計41名とマッチング成立し、職場研修期間(3ヶ月)の短期雇用契約を締結した。

※各施設の実績はP16～の各施設の取組み内容を参照

4) 職場研修と継続就労マッチングの実施

① 3ヶ月間の職場研修の実施

就労マッチングを経て、モデル6施設合計で41名が職場研修を開始した。各施設の業務内容に応じた業務マニュアルの作成や指導體制の整備等を通じて受け入れ準備を行い、オリエンテーション・OJT・OFFJT研修を中心に、概ね3ヶ月間の職場研修期間で介護助手が独立して業務を担えるよう、業務習熟に取り組んだ。モデル施設については、職場研修の期間中においても、個々の業務習熟度合いに応じて現場の指導體制や業務フローを柔軟に対応できるよう、随時業務分担や役割の見直しを行い、自らの業務改善につながるよう取り組んだ。

② 継続就労マッチングの実施

41名が職場研修を開始したが、研修途中で家庭の事情や身体的負担の理由で3名が退職し、職場研修修了者は38名となった。職場研修終了後の継続雇用について、各施設の業務ニーズや勤務時間と介護助手の継続希望を再度就労マッチングし、最終的に継続雇用者数は6施設合計28名となった。

2 各モデル施設の取組み内容

医療法人讃生会 介護老人保健施設 浦河緑苑

住所
浦河郡浦河町字東栄 571-3
TEL: 0146-26-3911

開設：平成9年 独立型 入所75名 通所50名

浦河緑苑の活動実績

■地域への広報

- 1)新聞折り込み…地方紙に10,000部(様似町、浦河町、静内町)
- 2)ポスター掲示…30箇所(上記三町庁舎、クリニック、温泉施設ほか)
- 3)地域ケア会議で案内

■事前説明会参加者数…19名(①9月1日12名、②震災により個別対応)

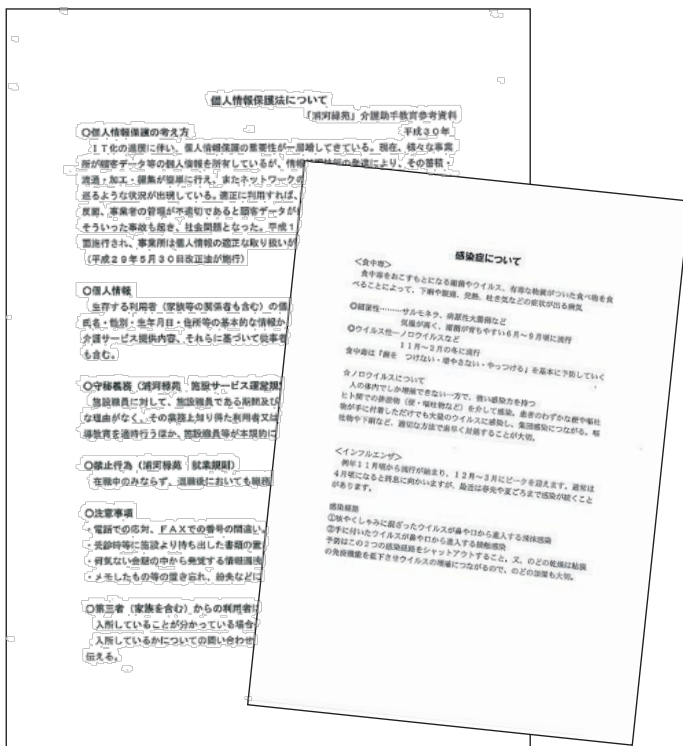
■就労マッチング参加者数…10名

■職場研修参加者数…7名

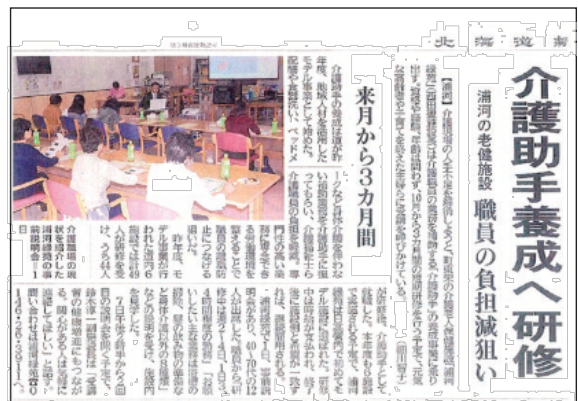
■継続雇用…2名(常勤換算1.3名)※常勤職員と非常勤職員に雇用形態を変更

取組み内容

1. 業務の効率化・介護福祉士等の働き方を検討
2. ジョブマッチングの開催
(地域への広報、事前説明会、マッチング)
3. 地域人材への研修



マニュアルには、作業内容をはじめ感染症対策や接遇、認知症、個人情報保護等についても記載。特に個人情報については、小さな町であるため、何気ない話でもプライバシーに関わる恐れがあることから、会話の内容には注意を呼びかけ保護につとめた。



地域への広報には特に注力。日高振興局や保健所、他事業所の担当者などが多く集まる地域ケア会議で、本事業の趣旨や目的を広く呼びかけた。北海道新聞や日高報知新聞には事前説明会参加を呼びかける記事が掲載。



指導体制は、介護助手が働く現場に指導役・相談役となるリーダー職を必ず一人置き、なるべく職員から声をかけるようコミュニケーションを重視した。